

# 新たな指標でさらさらに明確化

平成19年度安曇野市の各会計の決算が9月定例議会で認定されました。この決算をもとにした普通会計の決算状況もまとまりましたので市の財政状況をお知らせします。また本年度から、県や市町村の財政を適正に運営することを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が公布され、より精密に自治体の財政事情を公表するようになりました。後半には、この健全化判断比率等の指標を紹介します。

## はじめに

決算は、市の運営に必要な経費について、市に入ったお金（歳入）と、使ったお金（歳出）を明らかにするものです。安曇野市には、15のお財布があります（表1）。これらはお金の使い道の違いで分けています。市で一番大きなお財布は「一般会計」で、市の本体を担う会計です。市税や地方交付税を主な財源として、福祉、教育の充実や道路

整備などの主要事業に用いています。これに同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計を加えたものを「普通会計」と区分しています。これは、全国共通なとらえ方なので、自治体の財政状況を分析する上でも有効なものになります。

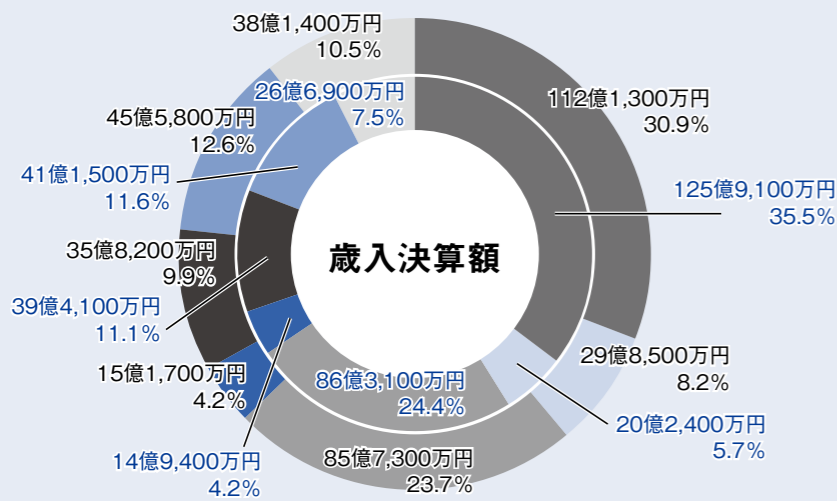
## 歳入

平成19年度の普通会計の歳入決算額はおよそ355億円となりました。昨年度との比較では、総額で7億円余り減額となりました。

せると153億900万円となります。全国の地方自治体で財政の窮状が続く中、積立金を減らすことなく、堅実な財政運営が行われたといえます。



平成19年度(内)・平成18年度(外) 決算状況

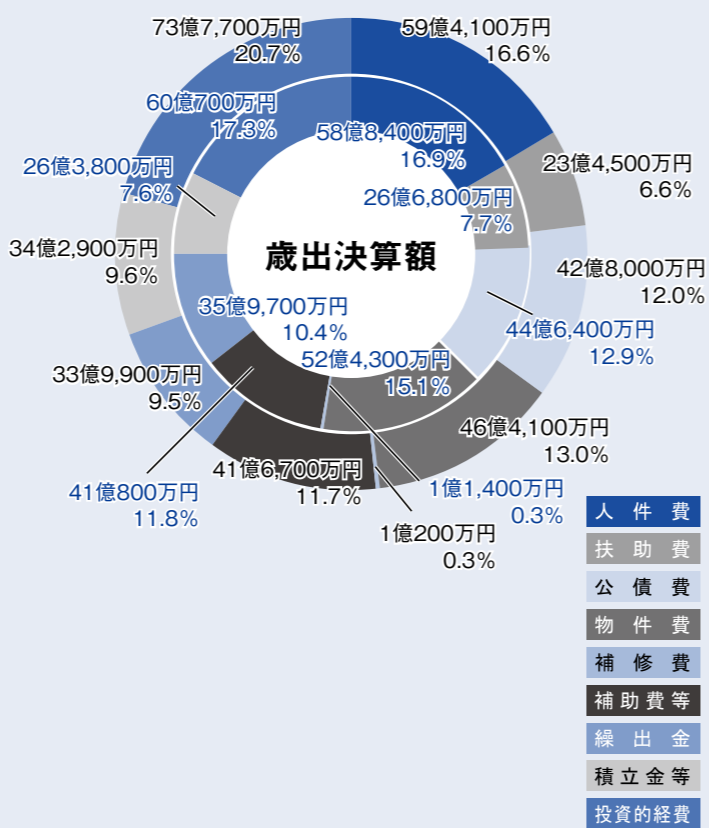


- 地方税
- 譲与税等
- 地方交付税
- 分担・負担使用・手数料
- 国県支出金・交安交付金
- 市債
- 諸収入等

※歳入歳出決算額は「地方財政状況調査表」(決算統計)による合計額のため表1の合計額とは異なります。

## 歳出

平成19年度(内)・平成18年度(外) 決算状況



普通会計の歳出決算額はおよそ347億円で、昨年度比9億5千万円の減額となりました。扶助費、繰出金、物件費が増加となりましたが、人件費、補助費等、投資的経費が減額となり、総額として減少しました。扶助費は生活保護費や児童扶養手当の支給等、市として行う給付事務が増えたためです。物件費は地図情報システム統合等委託料が

増額となったためです。また、繰出金については、主に下水道事業会計への繰出しが増加したためです。人件費は、合併による経費削減効果であり、補助費等は一部事務組合への負担金の減少が主な要因です。投資的経費については、災害復旧事業が終了したため減少しました。財政状況としては、地方債残高が前年度比0.9%増となりましたが、基金残高が前年度比7%増となり、良好な運営であったといえます。

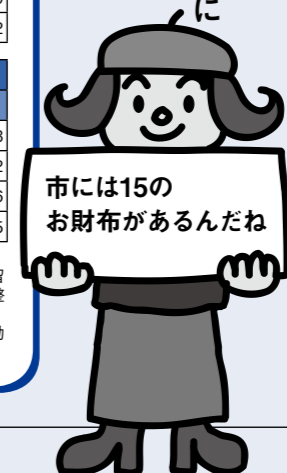


表1 平成19年度各会計決算額 単位:円

会計区分	会計名	決算額				
		歳入	歳出	差引額		
普通会計	一般会計	35,471,926,018	34,732,541,406	739,384,612		
	同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	8,748,776	6,325,924	2,422,852		
特別会計	国民健康保険特別会計	9,887,213,815	9,307,899,876	579,313,939		
	老人保健特別会計	8,361,025,537	8,361,025,537	0		
	介護保険特別会計	5,702,528,102	5,678,883,073	23,645,029		
	下水道事業特別会計	6,560,343,038	6,518,944,887	41,398,151		
	農業集落排水事業特別会計	217,816,073	215,903,722	1,912,351		
	上川手山林財産区特別会計	1,811,849	1,193,054	618,795		
	北の沢山林財産区特別会計	1,191,121	1,053,237	137,884		
	有明山林財産区特別会計	1,333,729	869,412	464,317		
	富士尾山林財産区特別会計	680,399	230,918	449,481		
	穂高山林財産区特別会計	627,097	255,728	371,369		
	産業団地造成事業特別会計	98,462,082	98,458,200	3,882		
	公営企業会計	水道事業会計	収益的収入及び支出	2,089,706,452	1,995,283,659	94,422,793
			資本的収入及び支出	431,306,036	2,053,463,188	-1,622,157,152
市営宿舎事業会計		収益的収入及び支出	257,821,458	270,172,864	-12,351,406	
		資本的収入及び支出	0	4,595,625	-4,595,625	

\*水道事業会計における資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金、減積立金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てん  
\*市営宿舎事業会計における資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額で補てん